

あなたが望むネットコミュニケーション

ねらい

周りの人たちとのコミュニケーションについて、自分自身が望むことと他者が望むことを考えることにより、誰もが過ごしやすいネット社会を築くためのルールやマナーについて考えさせる。

活動内容

2人組で順番に質問
振り返り
インタビュー

準備するもの

筆記用具
振り返りシート
ワークシート

実施する時間

学級活動
ホームルーム活動
国語や社会などの関連する
教材を扱う授業



同じ質問を何度も繰り返す

指導のポイント

人と接していてうれしいと感じたのはどんな場面だったか、なぜそう感じたかについて思い返させる。
他の人はどんな時にうれしく思うのかを理解させる。
掲示板や電子メールなどのネットコミュニケーションも普段のコミュニケーションと同じ心遣いが大切なことを理解させる。

指導展開例

学習活動	時間	指導上の留意点
インストラクション 「あなたが望むコミュニケーション」の活動の流れを示す。	2分	活動の趣旨を理解させる。
エクササイズ 質問「あなたは普段どのようなコミュニケーション手段をとっていますか。」を交代で行う。	10分	話しやすい人と2人組をつくる。一人3分ずつ自分のコミュニケーションのとり方について語る。
2人組でお互いに感想を伝え合う。	3分	何を感じたかを振り返らせる。
エクササイズ 質問「今までにいろんな人と接した中で、どんなときにうれしく思いましたか。」を交代で行う。	20分	質問役は10分間、同じ質問を繰り返し投げかける。(反復質問法) 回答役は5W1Hの要領で具体的に答える。
2人組でお互いに感想を伝え合う。	10分	何を感じたかを振り返らせる。
シェアリング 2人組としての感想を発表する。	5分	いくつかのペアにインタビューする。 ネットコミュニケーションでもコミュニケーションのとり方は同じであることを理解させる。

指導展開のアレンジ例

1. エクササイズ、における2人組どうしでの振り返りの時間を省略する場合
シェアリングとして、2人組へのインタビューの後、余った計13分を使って、配付資料1(振り返りシート)「あなたが望むコミュニケーション」を配り、各自に振り返らせてもよい。
シェアリングは、時間の関係で2人組へのインタビューも省略し、計18分を各自に振り返らせ、何人かにインタビューして感想を述べさせてもよい。
2. 2人組の形態をとらずに教師主導で進める場合
配付資料2(ワークシート)「ネットコミュニケーションで大切なこと」を配り、コミュニケーション手段の特性についても考えさせる。何人かに発表させる。
5～6人のグループをつくって話し合わせてもよい。グループごとに発表させる。